

小平市長 小林正則様

2011年7月20日

小平市が独自に放射線量を計測し公表することを求める要望書-2

日本共産党小平市議団

日頃の市民本位の市政をめざしてのご努力に敬意を表します。

私ども日本共産党小平市議団は、6月3日付で放射能汚染から市民を守ることに
関して申し入れを行いました。一定程度の前進ははかられたものの、首都圏
におけるホットスポットの出現など、その後の事態の進展と、市民の不安に応
えるには不十分と考え、再度の申し入れを行うものです。

あわせて、6/3付の申し入れ事項のうち、計測個所を6ポイントに増やしてい
ただいたことは評価しつつ、実現していないと思われる項目の検討状況につい
てもお尋ねします。

すなわち、①線量計を大至急購入すること ②定期的に計測し公表すること
③国への意見具申を行なうこと、の3点についてです。

さて、緩慢とも見える小平市の動きに業を煮やした市民のみなさんが、市議
会議員有志と簡易型計測機にて各学校の計測を行っておられます。その数値が、
議員や団体のホームページなどで公表されています。それで市民の方が安心さ
れていることは事実ですが、望ましいかたちでないと考えます。

市内で計測するなら同レベルの機種・計測条件のもとで行うべきではないで
しょうか。市民の方が不安に駆られてやむにやまれず行動されているという点
をご理解の上、その不安に行政がきちっと応えていただきたいのです。

また、過日、全国に流通している牛肉から高濃度のセシウムが検出されたり、
静岡県のお茶も出荷停止になったことは既報の通りです。子どもたちの給食の
食材についても不安の声が寄せられています。

市民のみなさんの「分からない」「情報がない」不安への対処を急ぎお願いする
次第です。細かくなりますが、新たに次の9点について要望いたします。

① 東京都が使用しているものと同レベルの放射線の線量計を大至急購入し、6
ポイントで、当面はせめて1週間に1回計測し、結果をホームページで公開
すること。日々刻々と変わる状況に対して、1か月に1回ではテンポが遅す
ぎます。また、今後、事故の状況によっては、ポイント数や計測回数を柔軟
に対応していただきたい。

② 入手までの期間は業者に委託して、①と同様の措置をとること。

- ③ 線量計を入手したら、直ちに市で直接計測すること。その際は学校に加えて公園などポイント数を増やすこと。
- ④ 計測作業に当たっては、そのための臨時職員を雇用すること。放射能汚染問題は長期にわたることが予想されるので、来年度以降の体制を今から準備すること。
- ⑤ 簡易型の貸し出しについては、貸出希望の申し出を待っているのではなく、すべての公共施設でまず、計測すること。またその結果を、簡易型ということをも明記し、あくまでも参考値として公共施設及びそれに準ずる施設（私立幼稚園など）に張り出すこと。
- ⑥ ホームページを利用しない人のために、紙ベースでの周知を工夫すること。
- ⑦ 給食の食材について、産地を公表するとともに、何に基づいて「安全である」としているかを広報すること。
- ⑧ 給食の食材は、当面、東北3県のものや、基準値以下であっても通常値よりも明らかに高い数値を示すものについては、避けること。
- ⑨ 空間線量、土壌線量、プールの水線量、食物線量のそれぞれに、安全の基準値を決めて、広報すること。

以上